

---

第3回 三朝町議会定例会会議録（第6日）

平成22年3月15日（月曜日）

---

議事日程

平成22年3月15日 午前10時開議

（質 議）

- 日程第1 議案第4号 平成22年度三朝町一般会計予算
- 日程第2 議案第5号 平成22年度三朝町国民健康保険事業特別会計予算
- 日程第3 議案第6号 平成22年度三朝町老人保健特別会計予算
- 日程第4 議案第7号 平成22年度三朝町後期高齢者医療事業特別会計予算
- 日程第5 議案第8号 平成22年度三朝町介護保険事業特別会計予算
- 日程第6 議案第9号 平成22年度三朝町簡易水道事業特別会計予算
- 日程第7 議案第10号 平成22年度三朝町温泉配湯事業特別会計予算
- 日程第8 議案第11号 平成22年度三朝町下水道事業特別会計予算
- 日程第9 議案第12号 平成22年度三朝町集落排水処理事業特別会計予算
- 日程第10 議案第13号 平成22年度三朝町分譲宅地造成事業特別会計予算
- 日程第11 議案第14号 平成22年度三朝町会計事務集中管理特別会計予算
- 日程第12 議案第15号 平成22年度三朝町財産区特別会計予算
- 日程第13 議案第16号 平成22年度三朝町水道事業会計予算
- 日程第14 議案第17号 平成22年度三朝町国民宿舎事業会計予算
- 日程第15 議案第18号 三朝町財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部改正について
- 日程第16 議案第19号 三朝町国民健康保険税条例の一部改正について
- 日程第17 議案第20号 三朝町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例等の一部改正について
- 日程第18 議案第21号 三朝町特別職の職員で常勤のもの等の給与の特例に関する条例及び三朝町国民宿舎事業管理者の給与の特例に関する条例の廃止について
- 日程第19 議案第22号 三朝町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
- 日程第20 議案第23号 三朝町職員の給与に関する条例等の一部改正について

- 日程第21 議案第24号 三朝町職員の育児休業等に関する条例等の一部改正について
- 日程第22 議案第25号 三朝町条例の地番の表記の整理等に関する条例の設定について
- 日程第23 議案第26号 三朝町基金条例の一部改正について
- 日程第24 議案第27号 三朝町ふるさと健康むらの指定管理者の指定について
- 日程第25 議案第28号 三朝温泉観光商工センターの指定管理者の指定について
- 日程第26 議案第29号 三朝町総合スポーツセンターの指定管理者の指定について
- 日程第27 議案第30号 財産の取得について（中津局移動通信用無線設備）
- 日程第28 議案第31号 財産の取得について（依原局移動通信用無線設備）
- 日程第29 議案第32号 定住自立圏形成協定の締結について
- 日程第30 議案第33号 鳥取中部ふるさと広域連合規約を変更する協議について
- 日程第31 議案第34号 町道路線の認定について
- 日程第32 議案第35号 町道路線の変更について
- 日程第33 議案第36号 平成21年度三朝町一般会計補正予算（第9号）
- 日程第34 議案第37号 平成21年度三朝町国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）
- 日程第35 議案第38号 平成21年度三朝町老人保健特別会計補正予算（第2号）
- 日程第36 議案第39号 平成21年度三朝町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第3号）
- 日程第37 議案第40号 平成21年度三朝町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）
- 日程第38 議案第41号 平成21年度三朝町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）
- 日程第39 議案第42号 平成21年度三朝町温泉配湯事業特別会計補正予算（第1号）
- 日程第40 議案第43号 平成21年度三朝町下水道事業特別会計補正予算（第2号）
- 日程第41 議案第44号 平成21年度三朝町会計事務集中管理特別会計補正予算（第2号）
- 日程第42 議案第45号 平成21年度三朝町水道事業会計補正予算（第3号）

---

#### 本日の会議に付した事件

（質 議）

- 日程第1 議案第4号 平成22年度三朝町一般会計予算
- 日程第2 議案第5号 平成22年度三朝町国民健康保険事業特別会計予算
- 日程第3 議案第6号 平成22年度三朝町老人保健特別会計予算
- 日程第4 議案第7号 平成22年度三朝町後期高齢者医療事業特別会計予算
- 日程第5 議案第8号 平成22年度三朝町介護保険事業特別会計予算

- 日程第6 議案第9号 平成22年度三朝町簡易水道事業特別会計予算
- 日程第7 議案第10号 平成22年度三朝町温泉配湯事業特別会計予算
- 日程第8 議案第11号 平成22年度三朝町下水道事業特別会計予算
- 日程第9 議案第12号 平成22年度三朝町集落排水処理事業特別会計予算
- 日程第10 議案第13号 平成22年度三朝町分譲宅地造成事業特別会計予算
- 日程第11 議案第14号 平成22年度三朝町会計事務集中管理特別会計予算
- 日程第12 議案第15号 平成22年度三朝町財産区特別会計予算
- 日程第13 議案第16号 平成22年度三朝町水道事業会計予算
- 日程第14 議案第17号 平成22年度三朝町国民宿舎事業会計予算
- 日程第15 議案第18号 三朝町財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部改正について
- 日程第16 議案第19号 三朝町国民健康保険税条例の一部改正について
- 日程第17 議案第20号 三朝町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例等の一部改正について
- 日程第18 議案第21号 三朝町特別職の職員で常勤のもの等の給与の特例に関する条例及び三朝町国民宿舎事業管理者の給与の特例に関する条例の廃止について
- 日程第19 議案第22号 三朝町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
- 日程第20 議案第23号 三朝町職員の給与に関する条例等の一部改正について
- 日程第21 議案第24号 三朝町職員の育児休業等に関する条例等の一部改正について
- 日程第22 議案第25号 三朝町条例の地番の表記の整理等に関する条例の設定について
- 日程第23 議案第26号 三朝町基金条例の一部改正について
- 日程第24 議案第27号 三朝町ふるさと健康むらの指定管理者の指定について
- 日程第25 議案第28号 三朝温泉観光商工センターの指定管理者の指定について
- 日程第26 議案第29号 三朝町総合スポーツセンターの指定管理者の指定について
- 日程第27 議案第30号 財産の取得について（中津局移動通信用無線設備）
- 日程第28 議案第31号 財産の取得について（俵原局移動通信用無線設備）
- 日程第29 議案第32号 定住自立圏形成協定の締結について
- 日程第30 議案第33号 鳥取中部ふるさと広域連合規約を変更する協議について
- 日程第31 議案第34号 町道路線の認定について
- 日程第32 議案第35号 町道路線の変更について

- 日程第33 議案第36号 平成21年度三朝町一般会計補正予算（第9号）
- 日程第34 議案第37号 平成21年度三朝町国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）
- 日程第35 議案第38号 平成21年度三朝町老人保健特別会計補正予算（第2号）
- 日程第36 議案第39号 平成21年度三朝町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第3号）
- 日程第37 議案第40号 平成21年度三朝町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）
- 日程第38 議案第41号 平成21年度三朝町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）
- 日程第39 議案第42号 平成21年度三朝町温泉配湯事業特別会計補正予算（第1号）
- 日程第40 議案第43号 平成21年度三朝町下水道事業特別会計補正予算（第2号）
- 日程第41 議案第44号 平成21年度三朝町会計事務集中管理特別会計補正予算（第2号）
- 日程第42 議案第45号 平成21年度三朝町水道事業会計補正予算（第3号）

出席議員（12名）

1番 清水 成 眞	2番 藤 井 克 孝
3番 吉 田 文 夫	4番 福 田 茂 樹
5番 遠 藤 勝太郎	6番 平 井 満 博
7番 松 村 修	8番 横 木 文 雄
9番 知久馬 二三子	10番 山 田 道 治
11番 杉 原 憲 靖	12番 牧 田 武 文

欠席議員（なし）

欠 員（なし）

事務局出席職員職氏名

局長 ————— 遠 藤 英 臣 主幹 ————— 山 中 恵 子

説明のため出席した者の職氏名

町長 ————— 吉 田 秀 光 会計管理者 ————— 大 坂 公 孝

総務課長 ————— 高 見 昌 利 財務課長 ————— 石 井 秀 己

税務課長 ————— 松 原 茂 隆 町民課長 ————— 真 嶋 峰 和

農 林 課 長 兼 農業委員会事務局長 ————— 山 根 猛 昭 企画観光課長 ————— 米 田 功

健康福祉課長 ————— 朝 倉 聡 建設水道課長 ————— 岩 山 靖 尚  
総務課参事 ————— 平 井 文 彦 教育委員会委員長 ————— 山 本 邦 彦  
教育総務課長 ————— 布 廣 覚 生涯学習課長 ————— 田 栗 幸 人  
農業委員会会長 ————— 安 藤 雅 啓 代表監査委員 ————— 和 泉 澤 吉  
国民宿舎事業管理者 ———— 知久馬 孝 紀

---

午前 9 時 5 5 分開議

○議長（牧田 武文君） おはようございます。

ただいまの出席議員は 12 名であります。定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

本日届け出のあった欠席者は、議員、当局ともございません。以上、報告いたします。

本日の議事日程は、お手元に配付しているとおりであります。

---

日程第 1 議案第 4 号 から 日程第 4 2 議案第 4 5 号

○議長（牧田 武文君） お諮りいたします。議事の進行上、この際日程を変更して、日程第 1 から日程第 4 2 までの 4 2 件の議案を一括議題といたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 御異議なしと認めます。よって、この際日程を変更して日程第 1 から日程第 4 2 まで、すなわち議案第 4 号から議案第 4 5 号までの 4 2 件の議案を一括議題といたします。

これより質疑に入ります。

質疑は、議事の進行上 1 件ごとに議案の順を追ってすることといたします。

議案第 4 号、平成 22 年度三朝町一般会計予算について、本案に対する質疑は第 1 条の歳入歳出予算から行います。

まず、歳出の 1 款議会費から 2 款総務費までの 30 ページから 41 ページまで、質疑ありませんか。

平井議員。

○議員（6 番 平井 満博君） 35 ページ、地域自立活動支援資金 900 万が上がっておりますけれども、6 地域の中でこれ活用しとって、1 地域 150 万という交付金になってますけれども、基

本的には消化型の予算になりやすい部分があるんで、その活動に対する地域差というか、そういう部分の中でやっぱり一律の150万でなくして、何か変わった形の運用の仕方が今後なされな  
いかということをお聞きします。

○議長（牧田 武文君） 高見総務課長。

○総務課長（高見 昌利君） 地域自主活動支援交付金ということで、1地域当たり150万とい  
うことで交付をいたしております。地域協議会がそれぞれ地域で立ち上がって、約3年を経過し  
たところでございます。

このたびの予算の編成に当たりまして、いろいろと地域の協議会の代表者と議論をしてみ  
ました。一応、御指摘のように一律150万は消化型ではないかというふうな意見も聞かれると  
ころではございますが、一応まだ3年ということで、それぞれの地域がそれぞれの特色を出そう  
というふうな取り組みをやっておられます。そういうふうな活動の中で、一応本年度は従来と同  
様の一律150万というふうな考え方で交付することを予定いたしました。

ただ、次年度以降それぞれの活動も含めて議論をした中で、その一律150万というふうな一  
律の交付というものについては見直しを、常にそういう考え方で対応していきたいというふう  
に思っておりますが、現段階ではまだ年限が浅いというふうなこともございまして、一応150万  
という一律交付を予定をさせていただいたというふうなことでございますので、御理解いただ  
きたいと思っております。

○議長（牧田 武文君） 6番、平井議員。

○議員（6番 平井 満博君） やっぱり本当に地域の自立という部分で積極的に動くようになれ  
ば、この150万の交付金では活動できない部分がありますんで、今後そういった考え方、交付  
というか、予算要求型みたいな形の自立支援資金の方に検討をいただければと思っております  
ので、そこらを言って終わります。

○議長（牧田 武文君） 答弁はいいですか。

○議員（6番 平井 満博君） いいです。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

9番、知久馬議員。

○議員（9番 知久馬二三子君） 34ページの自治振興交付金ですけれども、これは予算説明資  
料の24ページですけども、この中の詳しいことをちょっと教えてほしいです。私自身が振興交  
付金の要綱というのを大変不勉強でして、その辺のことを詳しく教えていただきたいと思  
います。

○議長（牧田 武文君） 高見総務課長。

○総務課長（高見 昌利君） 以前は区長手当というふうな形で、それぞれの区長さんに交付をいたしておたわけでございます。平成17年のあたりから、そういうふうな交付につきましては改善していくというふうな考え方で、自治振興交付金というふうな名称に変えて要綱を定めて運用を行ってきたところでございます。

算定の根拠としましては、総額の2分の1額を均等割、残りの2分の1を世帯割というふうな形で交付をする額の算定をやっております。均等割につきましては5万4,000円、それから世帯割につきましては1戸当たり1,400円というふうな算定基礎をもって交付の額を定めております。

昨年から交付の方法について組みかえをさせていただきました。集落に交付をするというふうな考え方に立った中で、3つの方法、いわゆる交付の内容について定めを変えさせていただきました。1つは協議調整活動にかかわる費用、それから2つ目は町依頼文書等の配付にかかわる費用、それからその他良好な地域社会にかかわる活動というふうな3つのくくりで集落で受けていただいて、区長さんの活動として充てていただく部分はそれぞれ決めていただいてやっているというふうな方法に変えたところでございます。

本年も昨年と同様の額を予定をいたしております、2年目になりますので、そのあたりはそれぞれ区の方で取り扱いについてはそういうふうな形で扱っていただけるだろうというふうに考えておりますので、そういうふうな制度も含めて少し変更させていただいたというふうな取り扱いでございますので、よろしく申し上げます。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

○議員（9番 知久馬二三子君） わかりました。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

山田議員。

○議員（10番 山田 道治君） 33ページだと思いますけども、ラマルーへの交流派遣事業、これ20周年を迎えて非常に大事な事業だと位置づけがなされていると思うんですけども、説明によれば半分の補助しかないというようなこと、どなたが行かれても本当に大事な事業という位置づけならば半額と言わないで満額出してあげたらどうでしょうかという質問なんですけど。

○議長（牧田 武文君） 米田企画観光課長。

○企画観光課長（米田 功君） 確かにそういうことも検討いたしましたけれど、過去の実績にこだわるわけじゃないんですけど、基本的には10周年のときにもいろんな参加していただける方に、大変出費があるかとは思いますが半分は何とか負担していただいたというような経

過もあったようでございまして、20周年についても同じようないわゆる仕組みで何とか今年度もそういったことでお願いできないでしょうかということで、2分の1という補助ということで計画をさせていただいたということでございますので、よろしくお願いします。

○議長（牧田 武文君） 山田議員。

○議員（10番 山田 道治君） かつてそうだからといって、じゃ今回本当に重要かどうかちゅう、本当に要る部分ならもう全額でも出してあげられて、本当に日仏の交流を深められるべきではないかなと思いますけどね。かつてそうだったから今回もと。もしかしてこれもう後ろめたいような中身があるわけじゃないだろうから、きちっと町が代表して行くんだということであれば別に過去の事例にこだわられなくてもいいと思いますけども、この2分の1の根拠は何だったんですかね、改めて聞きますけど。

○議長（牧田 武文君） 米田企画観光課長。

○企画観光課長（米田 功君） 根拠というのは特にはないんですけど、先ほど言いましたように過去の事例というものをそのまま活用させていただいたということでございます。

ちなみに、1人当たり大体40万円程度かかったなというような試算をしておりますけども、その2分の1というようなことで今考えております。

○議長（牧田 武文君） 山田議員。

○議員（10番 山田 道治君） 数字はいいですけども、最後3回目ですから、もうこれはぜひ満額出してあげるべきだということを申し上げて質問を終わります。

○議長（牧田 武文君） ほかにございませんか。

〔質疑なし〕

○議長（牧田 武文君） そういたしますと、質疑を終結し、進行いたします。

次に、3款民生費から4款衛生費まで、41ページから50ページまで、質疑ありませんか。  
杉原議員。

○議員（11番 杉原 憲靖君） 49ページ、女性特有のがん検診の推進事業107万上がっています。説明資料の109ページ。説明資料の方で、がん対策基本法に基づき子宮がん、乳がん検診の受診率向上を目指すため、5歳刻みの年齢の者にクーポン券と検診手帳を配付するという事業でございしますが、これ5歳刻みというこの年齢の具体的な中身の話についてお伺いいたします。

○議長（牧田 武文君） 朝倉健康福祉課長。

○健康福祉課長（朝倉 聡君） まず、子宮がん検診につきましては5歳刻み、20歳を初めとしまして20歳、25歳、30歳、35歳、40歳までということでございます。



それから、乳がん検診につきましては40歳、45歳、50歳、55歳、60歳という5歳刻みの年齢の方に無料クーポン券を配付して、乳がん検診なり子宮がん検診を受診していただくという事業でございます。

○議長（牧田 武文君） 杉原議員。

○議員（11番 杉原 憲靖君） 特に子宮頸がんの病気については、予防することによって大方のこのがんにかからないというそういったいろんなデータも出ております。要するに唯一予防によって、ワクチン投与によって治るがんだというそういったことも言われておりますので、特にやっぱり検診のためのクーポン券という内容だろうと思いますけども、もう少しやっぱり国保会計全体のそういう観点から立つと、やっぱりワクチンの投与、予防の接種のここまでやっぱり事業を進めていかないと、単に検診だけのあれではなかなか基本的に方向的には進まないのではないかなという感じもしますので、特に各自治体のそういった報道もなされておりますが、やっぱりもう少し年齢層を下げて、下げるといいますか、要するに中学、高校、こういった年齢のところから予防のことを始めることの方がむしろもっと効果が多いんだというそういったデータも出てきますので、果たして20歳からのあれが基本的にいいのかどうか、もう少し若年層からそういった予防に対する意識等、そういう事業展開をされた方が効果がむしろ大きいのではないかな。こういうふうに思いますし、単に検診だけのあれにおさまっているところに町の一つの事業としては厳しい問題もあるかな。そういう目で今後展開していただきたいと思いますが、ちょっとコメントありましたら町長お願いいたします。

○議長（牧田 武文君） 吉田町長。

○町長（吉田 秀光君） 予算の編成の段階で、保健師の意見も相当伺いました。保健師の意見では、小学校6年生という具体的な年齢層を示して、その段階で対処するということが最大の効果を上げることにつながるという専門職としての意見をいただいているところです。

このあたりにつきましては、今後教育の観点も含めながら十分検討を加えていかないといけないということで、今回予算を低年齢層に至るところまでということへの踏み切りをようしなかった状況がございます。したがいまして、今、杉原議員の御意見を踏まえて、さらに検討を加えていかねばいけないと思うところでございます。

○議長（牧田 武文君） よろしいでしょうか。

ほかに。

1番、清水議員。

○議員（1番 清水 成真君） 議長、何点かあるんですが、全部言いますか。それとも1件ずつ。

- 議長（牧田 武文君） 一つずつです。
- 議員（1番 清水 成真君） 42ページ、下の方の段ですが、中部ふるさと連合負担金（障害程度区分認定審査会）37万円。大体毎年80万円ぐらい予算がついていたと思うんですが、半額以下になった理由を教えてくださいと思います。
- 議長（牧田 武文君） 朝倉健康福祉課長。
- 健康福祉課長（朝倉 聡君） ちょっと今回答を持ち合わせておりませんので、後日回答させていただきますと思います。よろしくお願いします。
- 議長（牧田 武文君） 1番、清水議員。
- 議員（1番 清水 成真君） その下の段の障害者ホームヘルプサービス事業830万円、ホームヘルパーを派遣して入浴、排せつ、食事、洗濯などを行うということですが、去年もあったんですが、これはどこかに委託してされるということですか。
- 議長（牧田 武文君） 朝倉健康福祉課長。
- 健康福祉課長（朝倉 聡君） そういうことでございます。倉吉市の楽というサービス事業所もありますし、それから敬仁会というか、倉吉病院系統のサービス事業所もございますし、いろいろまちまちでございます。
- 議長（牧田 武文君） 清水成真議員。
- 議員（1番 清水 成真君） 昨年度、新規事業を始められた事業の中で、障害者グループホーム等夜間世話人配置事業、それと身体障害者グループホーム支援事業という2つの事業が新規事業であったんですが、1年間でやめられたというこの事業はなぜやめられたんでしょうか。
- 議長（牧田 武文君） 朝倉課長。
- 健康福祉課長（朝倉 聡君） 昨年事業を実施をしようと思われていた事業者が、諸般の事情で昨年は実施をされなかったということでございます。それで今年度も今のところは事業計画がないということでございますので、当初予算は計上しませんでした。
- 議長（牧田 武文君） 清水議員。
- 議員（1番 清水 成真君） 次に行きます。45ページの中ほど、地域子育て支援センター事業費214万3,000円ですが、予算説明資料は78ページですけれども、全く昨年と同じ、一字一句変わらない事業なんですけれども、昨年度73万円ほど、今年度は214万円、同じ事業なのに2倍以上の予算がつけられているというのはどういうことでしょうか。
- 議長（牧田 武文君） 真嶋町民課長。
- 町民課長（真嶋 峰和君） 昨年度まで、教育委員会の生涯課と事業を抱き合わせの形でやって

おりました。ことしにつきましては、これを一つに、一括という表現が正しいかどうかわかりませんが、生涯課の部分の一つにして町民課で持つということと、それから相談日を2回から3回にふやして支援するという形で、予算を一本化したということでございます。

○議長（牧田 武文君） 清水議員。

○議員（1番 清水 成眞君） 事業内容は全く一緒ですよ。事業内容は一緒かということをお聞きしてるんですけど。

○議長（牧田 武文君） 真嶋町民課長。

○町民課長（真嶋 峰和君） 事業内容につきましては同じです。ただ、相談日の回数をふやしたということでもあります。

○議長（牧田 武文君） 清水議員。

○議員（1番 清水 成眞君） 最後になりますが、相談日を1回ふやしただけで130万以上の増額になるわけですか。

○議長（牧田 武文君） 真嶋町民課長。

○町民課長（真嶋 峰和君） 相談員を2名ふやして予算の増額になっております。

○議長（牧田 武文君） 清水議員。今のはもう終わりですよ。

○議員（1番 清水 成眞君） はい、次に行きます。

46ページでございます。子ども手当給付費1億1,500万円。給付方法は決まっていますでしょうか、支給方法。

○議長（牧田 武文君） 真嶋町民課長。

○町民課長（真嶋 峰和君） 基本的には口座振り込みということで、支給方法といいますとそういうことでよろしいでしょうか。

○議長（牧田 武文君） 清水議員。

○議員（1番 清水 成眞君） じゃすべての保護者の方に口座をお聞きして、その口座にすべてお振り込みをするということですか。

○議長（牧田 武文君） 真嶋課長。

○町民課長（真嶋 峰和君） そういうことになると思います。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） そういたしますと、質疑を終結し、進行いたします。

次に、6款農林水産業費、50ページから56ページまで、質疑ありませんか。

1 番、清水議員。

○議員（1 番 清水 成真君） 51 ページの農業振興費、農業振興事務費の中で、予算説明資料は112 ページですけども、農業振興審議会員が5 名になっておりますね。8 名だったと思うんですが、審議会を5 名にされたというのはどういう経過がありますでしょうか。

○議長（牧田 武文君） 山根農林課長。

○農林課長兼農業委員会事務局長（山根 猛昭君） 三朝町産業振興審議会の委員さんの委嘱を平成21年の4月から平成24年度3月まで委嘱をいたしておるところでございます、その中の農林部会ということで5 名の方を委嘱させていただいたということでございます。

○議長（牧田 武文君） 清水議員。

○議員（1 番 清水 成真君） 昨年度は8 名だったんですね。それを5 名にされたということをお聞きしておるんですけども。

○議長（牧田 武文君） 山根農林課長。

○農林課長兼農業委員会事務局長（山根 猛昭君） 21年度の人数につきましては、8 名というのが以前の人数であったのを6 名にせないけんところを8 名挙げとったということだということでございます。

○議員（1 番 清水 成真君） 6 名。

○農林課長兼農業委員会事務局長（山根 猛昭君） 5 名でございます、済みません。

○議長（牧田 武文君） 清水議員。

○議員（1 番 清水 成真君） 最後になりますけど、5 名にしなきゃいけなかったのが8 名になっていたということで、今回きちんとした委員数にされたということでよろしいですか。

○議長（牧田 武文君） 山根課長。

○農林課長兼農業委員会事務局長（山根 猛昭君） そういうふう思うんですけど、ちょっと今資料がないので、実際の詳しい資料をちょっと精査しまして御答弁申し上げますので、御了解いただきたいと思っております。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

ほかに。

清水議員。

○議員（1 番 清水 成真君） グリーンサービスへ補助金が……（「詳細載ってます」と呼ぶ者あり）500 万円でございますが、中山間地域と個別と集落ということでございます。大幅に増額になっておりますが、これはどのような経過で。

○議長（牧田 武文君） 山根農林課長。

○農林課長兼農業委員会事務局長（山根 猛昭君） グリーンサービスにつきましては、設立当初から町の補助金を500万という基本の形で進ませていただいておりますが、議員おっしゃいましたように昨年度までにつきましては直接支払いの個別協定ということでグリーンサービスが約160万円程度ですか、個別協定を中山間地域の交付金でいただいておりますので、その部分を差し引いた額を補助金という形で支出しております。

今年度につきましては、500万の補助金を計上させていただいておりますのは、その個別の協定はグリーンサービスはもうしないと、集落の協定に入ると。集落の協定の中で集落との取り組みを一緒にさせていただいて、グリーンサービス自体も集落の営農にかかわっていただくというふうな思いで、集落の協定に入らせていただくということで個別の集落協定はしないということによりまして500万の補助金としたいということでございます。

○議長（牧田 武文君） 清水議員。

○議員（1番 清水 成真君） 次に行きます。

52ページでございます。おいしい三朝米生産農家育成事業補助金225万円、特別栽培米の1俵当たりが1,000円の補助をするということでございますが、特別栽培米だけに絞られた理由と、私としては農家ではありませんのでよくわかりませんが、すべての栽培米に対して奨励金を出すということにはなぜならなかったのかと思っております。

○議長（牧田 武文君） 山根農林課長。

○農林課長兼農業委員会事務局長（山根 猛昭君） 本来、言われますように米をつくっておられる農家の所得の補償という観点からしますと、つくっておられる方に何らかの助成をすることがいいというふうには思いますけれども、三朝米というそのもの自体をブランド化しようという基本的な発想もございまして、レベルを上げると申しましょうか、より高く売れるもの、品質のよいものをつくっていただくという思いがもともとございまして、そのために全体の底上げをするためにまずは取り組めるところ、県の認証をしております特別栽培米というものに取り組んで、そのところを応援させてもらうことによりまして全体の皆様がそこを参考にしながら特別栽培米をつくっていただくことも一つでございますけれども、そうではない方につきましてもそういう取り組みの中で全体の底上げができればというふうな思いで、このたびは今年度新しい事業として特別栽培米に取り組まれる方につきまして助成をしようと、そういうふうに考えたところでございます。

○議長（牧田 武文君） 清水議員。

○議員（1番 清水 成真君） そうしますと、言うなれば底上げをする。225万円の分でございますが、これパーセンテージで言えば今の底上げ率は幾らぐらいになりますか。

○議長（牧田 武文君） 山根農林課長。

○農林課長兼農業委員会事務局長（山根 猛昭君） 現在の予算で見込んでおりますのは、約30ヘクタールでの特別栽培米というものを見込んでおまして、ちょっと全体の中では作付されております今回の割り当てでは町内は344ヘクタールの作付の予定になっておりますので、ちょっと10%を切るというふうな形の数量を考えておるところでございます。

○議員（1番 清水 成真君） わかりました。

○議長（牧田 武文君） もういいですか。

○議員（1番 清水 成真君） 次の。

○議長（牧田 武文君） 1番、清水議員。

○議員（1番 清水 成真君） 55ページでございます。中ほど、森林整備地域活動支援補助金2,500万円。大幅に、昨年度事業は1,500万円程度の予算でされておられたんですが、これは1,000万円以上の増額をされたということは何か事業的にはありますか。

○議長（牧田 武文君） 山根農林課長。

○農林課長兼農業委員会事務局長（山根 猛昭君） 従来の支援の補助金につきましては、境界の明確化でございますとか作業道などの修繕など等々含めてヘクタール当たり5,000円という補助金の額でございました。今回2,500万円という増額になりましたのは、新たに山林におけますところの災害の確認でありますとかそういうふうな現地の状況の確認を新たにすることによりまして、国の方からヘクタール当たり1万円という新たな補助金が出るということでございまして、これの部分につきましては約100ヘクタール程度の数量を見込みまして、こういう額を計上させていただいておるところでございます。

済みません、この事業については2年間の事業でございまして、平成21年度と22年度というところでございます。

○議員（1番 清水 成真君） わかりました。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

○議員（1番 清水 成真君） はい。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

山田議員。

○議員（10番 山田 道治君） 先ほどと同じことなんですけども、2点あります、2点の最初の

方の。おいしい三朝米生産に対して1,000円の奨励金を出すと。これは単年度の補助金なのかということと、それから米づくりだけに特化されて、その後のつくったものをどうやって市場に持っていくかという観点がちょっと抜けとるような気がしますけども、その取り組みはなされないのか。

それから、補助金というよりも助成金の方が近いんじゃないかと思えますけども、教えてください。

○議長（牧田 武文君） 山根農林課長。

○農林課長兼農業委員会事務局長（山根 猛昭君） 議員が御指摘のように、米に対するつくられた方への助成ということでございますけども、販売の方につきましては以前から町長も申し上げておりますけど、堺米穀さんというところに販売しておることがございまして、米穀組合の皆様方も独自にいろいろなことをされとるところもございまして、基本的に今考えておりますのは農協の方で今そういう組織をしておりますけども、そこでつくったものをまずはそこに売って評価を得たいというふうなところで考えておるところでございます。

○議長（牧田 武文君） 山田議員。

○議員（10番 山田 道治君） 一般質問にもありましたように、やっぱりそういうルートではなかなか数字が上がってこないと思います。それでもしもJAさんが堺さんの方に高く売れるならば、この1,000円の補助は要らないはずなんで、もうちょっとその市場形成という点を検討されてもいいかなというように思いますけども。

それから、もう一個、単年度の補助金なのかどうかもあわせて。

○議長（牧田 武文君） 山根農林課長。

○農林課長兼農業委員会事務局長（山根 猛昭君） 補助金の単年度かどうかという御質問につきましては単年度というふうには考えておりませんで、複数年、とりあえず2年かまたは3年、今年度の状況を見まして、その辺のところはまた御相談させてもらいたいというふうに考えておりますけども、ことし1年というふうには考えておりません。

それから、流通の話ですけども、一般質問にもいろいろございました。流通のことも考えていけないけんということは非常に感じておるところでございますけども、現状におきましてはリスク等もございまして、農協の方で高値で売れるようなことの方策をしていただくようなことの取り組みを強めていきたいというふうに考えておるところでございます。それは三朝米のブランド化支援事業の3年計画の2年目でございますけども、その中に農協も入っておることでございますので、その辺のところの中で一緒に何とか高い値段で売れるような、農家の方に還元する

ような話も含めて話もさせてもらっとるところでございますので、そういう取り組みをしていきたいというふうに思います。

○議長（牧田 武文君） 山田議員。

○議員（10番 山田 道治君） 51ページです。二十世紀ナシのブランド化、ブランドになっているものをもっとブランド化していこうということでこれはいいですけども、その説明資料の説明がよくわからんのでちょっと解説してもらえませんか。116ページのブランド化事業の補助金の事業内容のところで、出荷を味が乗ったしゅんの時期に誘導して、これ栽培か何かをおくらされるとか、出荷時期、選果場というのは恐らく一定の期間になってるんですが、それを延ばしたりとかそういうことをされるということですかね。ちょっと意味がよくわからんです。

○議長（牧田 武文君） 山根農林課長。

○農林課長兼農業委員会事務局長（山根 猛昭君） 二十世紀ナシにつきましては、出荷の時期が値段の高いときにといたしますか、集中する傾向にありまして、完熟ナシという取り組みをやっておりまして、ある程度、ここにも書いてありますけど味の乗ったというか、早目にとって出すちゅうわけじゃなくって、ある程度糖度の乗った多少時期をずらして遅くなったものを出していこうというふうな考え方の補助金でございまして、そういう選果場のある時期の遅い方に誘導しようというためのものでございます。

○議長（牧田 武文君） 山田議員。

○議員（10番 山田 道治君） よくわからんですけども、選果場の締め切り時期をずらすということですか。それとも独自で市場をつくっていくという、そこだけ。ちょっとそこがよくわからん。

○議長（牧田 武文君） 山根農林課長。

○農林課長兼農業委員会事務局長（山根 猛昭君） 選果場で出荷するのは出荷するですけども、やっぱり平準化されてずっと出荷されるわけじゃないです。ある時期にピークが来て出荷されるということがございまして、そのピークの時期というのは今その時期が集中しておりますのと、それ以降にもっとうれたナシを売っていこうというふうな取り組みをしたい、そういうことでございます。ピークをちょっとずらして、もっと糖度の高いものを売りましょうというふうな発想でございます。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

○議員（10番 山田 道治君） よくわからんけど、いいです。

○議長（牧田 武文君） ほかに。



〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） ないようでしたら、質疑を終結し、進行いたします。

次に、7款商工費から8款土木費まで、57ページから62ページまで、質疑ありませんか。  
知久馬議員。

○議員（9番 知久馬二三子君） 58ページです。それから予算説明資料は68ページですけども、ふるさと健康むらの管理委託費が350万ほど出てますけど、これは委託費ですけども、大体にふるさと健康むらの織物工房とか陶芸、それから物産展ですね、年間の大体利用者というか、その入ってくる人数というのはどのくらいあるものでしょうか。あそこへ時々行ってみますけども、ほとんどあきあきみたいな状態ですしね、それと織物の方につきましては別枠でなるとどのようなことも聞きますし、その辺の状況をお聞かせ願いたいと思います。もう少しやっぱり利用者があっていいと思うんですけども、その対策等についてもどういふふうにご考慮されるかをお願いします。

○議長（牧田 武文君） 米田企画観光課長。

○企画観光課長（米田 功君） 済みません、利用人数につきまして、ちょっとまた後ほど調べて報告をさせていただきたいというふうに思います。

織物工房の方につきましては、あそこにはまたその織物をやっておられる方がそこに入られて、それで利用料を払われて織物をやっておられるということでございまして、直接観光協会の方が運営をしとるというものではございません。

なお、人数につきましては、また後ほど報告させていただきたいというふうに思います。

○議長（牧田 武文君） 知久馬議員。

○議員（9番 知久馬二三子君） それと、聞くところによりますといろいろな宣伝活動にしましても織物工房は何か抜けられとるというようなこともありましてね、一体になった場所ですし、その辺をもう少ししっかりと宣伝活動されたいかなと思うんです。そのあたりがどのように考えておられるかということをもう一度。

○議長（牧田 武文君） 米田企画観光課長。

○企画観光課長（米田 功君） 先ほど言いましたように、織物工房の方につきましては別の団体でやっておられるということで、特に観光協会として織物工房について特別そういった情報発信というのがちょっとおこなっているのかなというふうに思っています。一体的な体験型の施設でございまして、再度またちょっと、その辺のところはどういったやり方をやっているのか私も把握しておりませんので、陶芸と並んだところでございまして、同じような体験ということで

再度そういった情報発信をするようなことを観光協会の方にも指導してまいりたいというふうに思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

○議長（牧田 武文君） 知久馬議員。

○議員（9番 知久馬二三子君） そのことについては、やっぱり同じ場所にあるものですね、一体になったものだと思うんですよ。中身はどうあろうとも、その辺の宣伝というのは一体になってほしいです。

それと、もう一つには焼き物ですけども、うわさによりますと何か焼き物が高くて売れないというような話も聞きますし、その辺の芸術品ですから私自身はそれはわかりませんが、やはりもう少し消費できるような形で取り組まれたらどんなかなということをおもうんですけども、町長さん、その辺を一つお願いします。

○議長（牧田 武文君） 吉田町長。

○町長（吉田 秀光君） 焼き物の世界につきましては、私が今さら申し上げるまでもなくそれぞれ長い歴史と伝統を積み重ねてきておられるというふうに思っております。現在、健康むらで焼き物の製作、さらには指導を行っていただいております津村鳥水さんは、山口県の萩で焼き物を勉強され、本町の要請によって帰ってこられて健康むらでああした立場で指導、さらには製作を行っておられます。したがって、それぞれの製作された作品に値段がつけられておるわけですが、その値段について、これが適切、これがどうだという評価についてはなかなか私どもではしがたい部分があるというふうに思っています。

なお、津村さんの作品については、非常に高い評価を受けているというふうに承っておるところでありまして、なお一層津村さんの作品が世にさらに高名をはせていくように願うところでございます。御理解をいただきたいと思ひます。

○議長（牧田 武文君） 知久馬議員。

○議員（9番 知久馬二三子君） 59ページの公園管理費についてですけども、説明資料では47ページですが、今、公衆便所等はどのくらいあるかなということをお聞きしたいですし、その維持管理しているというのはどこどこにあるかということをお聞きしたいです。

それと、このごろ公衆便所というのはどこに行ってもきれいな公衆便所ですけども、三朝町の場合は何か余りそれこそ洋式の分ですと保温してないようなものもありますし、そこら辺あたりをどういうふうにお考えられるかということ、利用者の気持ちになったものでトイレもつくってもらいたいなという思いがありますので、よろしくお願ひします。

○議長（牧田 武文君） 石井財務課長。

○財務課長（石井 秀己君） 公衆トイレの箇所数ですけども、今、何か所あるかと言われてもちょっと資料を持ってきておりませんのでお答えができませんけども、ここらあたりでいきますと牧の桜つつみでありますとかやなせ公園の溪泉閣の前ですとか三朝の恋谷橋のあたり、それから三徳山から小鹿溪、そういったようなところにあるものでございますけども、この管理につきましてはシルバー人材センターの方に委託を出しております、それぞれ管理してもらっているところ、それから三徳山のウオーキングセンターですか、ああいったところの分について一部地元の方に管理をお願いしているところもございます。総体的に見て回りますといいますか、確認して回るのはシルバー人材センターの方にお願いしているところです。

それから、言ってみればウォッシュレットのようなそういったトイレですとか冬期間の温かい便座というようなこともあると思いますけども、そういったこと、一応露天といいますか、なかなか目の届きにくいところがございますし、管理的にも難しい面もあろうかと思えます。そういった要望等がございますれば検討はしてみたいと思いますけども、なかなかすべて24時間管理しとるわけにはなりませんので、一応そういったことがちょっと難しいのかなというふうには感じています。

○議長（牧田 武文君） 知久馬議員。

○議員（9番 知久馬二三子君） せめて観光地、三朝地区ですか、例えば図書館にあるところのトイレとか今言われました三朝の中にあるトイレとかというのは、もう少し整備はなされていいのではないかなという思いがします。

それから、大体にどの箇所にあるか、一覧表でもいいですから、その辺、管理されているところを教えてほしいと思いますけども、よろしくお願いします。

○議長（牧田 武文君） 石井財務課長。

○財務課長（石井 秀己君） 観光地の部分のトイレにつきましては、何かそういう観光マップみたいなところで表現したらというようには考えてみたいと思います。

それから、特に三朝地内の2カ所ありますけども、その部分については観光協会の方にも管理委託をお願いして掃除しているところもあります。それから恋谷橋のところについては、区の方の要望もあったりした関係上、一応今責任がどちらにあるかということがちょっと話題になっておりますけども、当初は三朝区が管理するというようなこともあった経過がございますので、なかなか行政がすべてするという事は難しいと思います。やはり地元の方の御協力をいただきながらしていきたいと考えております。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

1 番、清水議員。

○議員（1 番 清水 成真君） 2 点あります。5 7 ページの中ほどよりちょっと上に当たりますが、荒廃公有財産管理業務 1 8 4 万円でございます。これは緊急雇用創出事業ということで予算化されておりますが、予算説明資料は 6 3 ページです。昨年まで 5 名で雇用されておられましたよね。3 名になって、緊急雇用の人たちを 2 名減らされておられます。3 名になっているんですが、その経過と、それと 5 名のときよりも 3 名になって昨年度より倍額以上の増額と。人数が減ったのに予算は増額されておられますが、事業内容は全く一緒で人数は減ったにもかかわらず増額ということになっておりますが、これはどういうことでしょうか。

○議長（牧田 武文君） 米田企画観光課長。

○企画観光課長（米田 功君） 申しわけございません。取りまとめは企画課の方でやっております、3 名というふうにしておりますが、この 3 名といいますのは 6 カ月未満が一つのサイクルになっておまして、計画では 6 カ月以上ということで更新も含めてというようなことを担当課の方は考えているようでございまして、それで結局 3 名がいわゆる 2 回ということになりました、トータル的には 6 名というふうになります。

したがいまして、人数といたしましてはちょっとこの資料の 3 名というのが違っていたということで、6 名ということで訂正をお願いをしたいというふうに思います。よろしくをお願いします。

○議長（牧田 武文君） 1 番、清水議員。

○議員（1 番 清水 成真君） 訂正はわかりましたが、昨年はじゃ 5 名で 6 カ月をされたということでしょうかね。

○議長（牧田 武文君） 石井財務課長。

○財務課長（石井 秀己君） 昨年の数値、ちょっと持ち合わせておりませんのでわかりませんが、この荒廃公有財産の管理委託といいますのは、町が持っております公有地の草刈りですとかそういった施設管理等についてでございますけども、実質的には年間通すと 3 人ぐらいで済むということで計画いたしております。基本的には、これもシルバー人材センターの方をお願いして雇用してやってもらうということで、実際ならこの人が何人でやるとというものじゃなくて、3 人程度で回していってもらうというような形でここに上げさせてもらっております。

○議長（牧田 武文君） 清水議員。

○議員（1 番 清水 成真君） 私が聞いとるのは、2 1 年度は 5 名でこの事業をされたのかどうかを聞いております。

○議長（牧田 武文君） 石井財務課長。

○財務課長（石井 秀己君） 延べでいきますと、5名程度になると思います。先ほど企画観光課長が答弁しましたですけども、人数的には年間を通すと3名程度になると思います。

期間でいきますとそういう形になりますけども、5名の方を新たに雇用したというような形になります。その月数が年間通してなのか何カ月なのかは別としまして、そういうことです。

○議長（牧田 武文君） 清水議員。

○議員（1番 清水 成眞君） 3回目で最後になりますが、5名をされたということで、じゃ5名の予算は92万円ですよ。ことし6名で180万円になりますよね。倍額以上になってしまってるんですが、ちょっとよくわからなかったんですけど、そのところをちょっともう一度お聞きできれば。

○議長（牧田 武文君） 米田企画観光課長。

○企画観光課長（米田 功君） 済みません、この制度はその事業によって雇用日数というのが変わってまいります。したがって、例えば5人でも雇用期間が例えば1カ月であれば少なくとも済みますし、去年の場合は多分、冬に向かっての期間的にちょっと少なかったと思いますので、人数は5名であってもその雇用の日数が少ないということで、若干金額が去年の場合は下がったということだというふうに思います。

○議員（1番 清水 成眞君） じゃ次に行きます。

○議長（牧田 武文君） 清水議員。

○議員（1番 清水 成眞君） 58ページ、一番上の温泉運営委員会委員報酬9万9,000円ですが、これは温泉運営委員会年間何回開かれて、どのような内容でされているのか。11名になっていますが、何となくあんまり聞いたことのないような運営委員会なので、年間の大体の回数と、22年度何回ぐらい開かれてどういう内容でされるのかという。

○議長（牧田 武文君） 米田企画観光課長。

○企画観光課長（米田 功君） 温泉運営委員会でございますが、これは特に三朝温泉街を中心にいたしまして、今、自噴泉とかいろんな泉源を守るという観点から、新たな井戸を掘削されとかそういったような事案が出たときに、その都度お集まりいただいて審議をしていただくということでございまして、常に定期的にこういった委員会を開催をしてやるということではございません。そういったことで、多分21年度は一度もそういった事案がなかったんで開催をしていなかったという実績があったというふうに思っています。

○議長（牧田 武文君） 清水議員。

○議員（1番 清水 成眞君） じゃ一度も開催されてないのに、昨年度より3万3,000円報

酬を増額されておられますよね。そうでしたら昨年度と同じような6万6,000円でいいのではないかと思います。増額されたのは3万3,000円増額されてますよね。一度も開かれていない。ことし22年度に何かそういう緊急的な事案があるということなんでしょうか。

○議長（牧田 武文君） 米田企画観光課長。

○企画観光課長（米田 功君） 今回、議案第22号で報酬の改正をお願いしとると思いますが、その中で温泉運営委員さんも明確化して、それで報酬を確定させていただいたということで、今までとは見直しを行ったということが単価の増額の原因でございます。

ただ、回数については、特別そういったものが今回あるかどうかはわかりませんが、そういった事案が出た場合は対応できるように、それだけの額は今回提案をさせていただいたということでございます。

○議長（牧田 武文君） 清水議員。

○議員（1番 清水 成真君） 最後になっちゃうんですけど、増額をされたのは何ぼかわからんですけど、単純に計算すれば昨年度6万6,000円、一人3,000円ですよ。それが2回分として6万6,000円だと思えるんですよね。今回9万9,000円出されたということは、多分3,000円を3回されるんじゃないかなという思いでされたんですけど、今、課長言われたのは報酬を増額されたということを言われたので、報酬を増額するとこの金額になりますか。

○議長（牧田 武文君） 米田企画観光課長。

○企画観光課長（米田 功君） ちょっと時間を下さい。よろしくお願いします。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

○議員（1番 清水 成真君） 終わります。

○議長（牧田 武文君） ほかにございませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） そういたしますと、質疑を終結いたします。

しばらく休憩をいたします。再開を11時15分といたします。

午前11時02分休憩

---

午前11時13分再開

○議長（牧田 武文君） そういたしますと再開いたします。

先ほど保留している答弁について回答があるそうですので、朝倉健康福祉課長。

○健康福祉課長（朝倉 聡君） 先ほど清水議員から御質問のありました42ページの中部ふるさと広域連合負担金、障害程度区分審査会費が前年に比べておよそ半額になっておるといふその理由はどうかという御質問に対してお答えします。

障害の関係の区分認定制度が始まりましたのが、自立支援法が始まりました平成18年の10月から始まりました。それでこの障害の区分認定の期間が3年間ということでございまして、18年の10月から始まりましたので、21年度というのがその変わり目の年ということで、たくさんの方の区分認定が出たということで、多額の経費を計上しました。

それで来年度、22年度につきましては、これが一区切りするというので数が減る見込みなんですけども、別の方で旧法施設というのが順次新しい制度に変わってきますのでそれほど、具体的に申し上げますと、20年度ぐらいまではその数が落ちないだろうということで現在の数字に落ちついておるといふことです。以上でございます。よろしくお願いいたします。

○議長（牧田 武文君） よろしいでしょうか。

○議員（1番 清水 成真君） はい。

○議長（牧田 武文君） 次、石井財務課長。

○財務課長（石井 秀己君） 同じく清水議員の委員報酬の、特に温泉運営委員会ですか、そのことの報酬がどう変わっているかということでございんですけども、先ほど企画観光課長が申しましたように議案第22号で今回非常勤の者の報酬等の一部改正という形の条例を上げておりますけども、従来条例で定めた委員の報酬は月額5,000円を超えない範囲内で予算に町長が定める額という形にしておりました。これまでの取り扱いが1時間1,000円で大体2時間程度の時間だろうということで、予算的にはですから2,000円掛ける11人で6万6,000円というようなことで予算ではしておりました。

この条例改正によりまして一日5,000円、済みません、条例委員というものの定めをきちっとしようということで、それぞれ消防審議会ですとか防災会委員ですとか、そういったものの条例で定めている委員についてきちっと明示して金額を明確化にしようということで、日額5,000円で4時間以内にあつては3,000円ということで、1,000円の増額という形になりますけども、予算上ではそういう形で見えております。

3回も必要かということですけども、予算上構えをしておくということで3回分の3万3,000円が増額になっているということでございます。

○議長（牧田 武文君） よろしいでしょうか。質問あったら。

○議員（1番 清水 成真君） いいですか。

○議長（牧田 武文君） いいですよ。

清水議員。

○議員（1番 清水 成真君） じゃこの9万9,000円の出された金額は、どのような形で9万9,000円を出されたんですか。5,000円が11名だったら5万5,000円ですよ。

○議長（牧田 武文君） 米田企画観光課長。

○企画観光課長（米田 功君） 先ほど財務課長が言いましたように、4時間以内は3,000円ということになりました。したがって4時間以内で3,000円ですので、委員さん11名おられますので、その3回ということで9万9,000円ということになったということになります。

○議長（牧田 武文君） よろしいですね。

○議員（1番 清水 成真君） わかりました。

○議長（牧田 武文君） 山根農林課長。

○農林課長兼農業委員会事務局長（山根 猛昭君） 済みません、清水議員の御質問で、産業振興審議会の委員の人数の件で御質問いただきました。

昨年度8名ということで計画してたという件につきまして、人数を間違えて8名ということで昨年度の予算でお願いさせていただいたということでございます。今年度につきましては、5名ということでお願いしたいということでございます。大変どうも失礼いたしました。

○議長（牧田 武文君） よろしいでしょうか。

そういたしますと、次に9款消防費から14款予備費まで、62ページから75ページまで、質疑ありませんか。

遠藤議員。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 63ページ、消防費、防災基盤整備事業ということで1,600万円上がっております。平成17年度から20年度まで、変革のための行動計画ということで、組織機構の検討をということで消防は検討されておるといふふうに思いますけども、今これを見ますと、小型消防ポンプ、小型ポンプ積載車の更新、防火水槽とありますけれども、もう既に御存じだと思いますけど、人口の減少とか集落単位で班が編成できないというような傾向の中にあって、再編とかというのを考えられた上でこういうのが上がってくるのか。去年も多分こういう話、質問させてもらったと思うんですけども、ただ更新の時期が来たけんかえるというような手法ではいけないかということを使ったと思うんですけど、何か検討されて変わったちゅうことがあるですか。



○議長（牧田 武文君） 平井総務課参事。

○総務課参事（平井 文彦君） この件に関してですけども、消防費、消防施設費ですけども、今、遠藤議員が言われましたただ更新ということで買いかえるとかということはちゅう質問でございますけども、相当年数来ておりまして、大瀬の積載車班、これが870万ほどかかります。それから山田の積載車ポンプ、これが170万。そういうようなことで、もう一つ、助谷に防火水槽を設置を予定させてもらっとるちゅうことで、こういう大きな額になったものでございます。

○議長（牧田 武文君） 遠藤議員。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） ちょっと待って、検討されたかちゅう答弁がないんだけど、検討しましたかということ。

○総務課参事（平井 文彦君） 遠藤議員の質問、再編の検討のことですか。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） ああ。

○総務課参事（平井 文彦君） それにつきましては、2日目の平井議員に対する町長の答弁にもありましたんですけども、町は方面隊方式でやるとということございまして、広い面積も有する、山林も広範囲だということで、温泉地も抱えておるちゅうことございまして、消防団ともいろいろ協議しながら、また消防審議会とも今後協議しながら、もう少し時間をいただきたいと思えます。

○議長（牧田 武文君） 遠藤議員。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 4年もかかっているですよ、5年過ぎとるですよ、もう17年から21年ですから5年。ほかのことについては既に回答して当たるというのに、何で消防だけができんかちゅうのがまず一つの問題点。

それから、言われとる方面隊どうこう、それは必要ですし、私は積載車どうこう、機動班については文句を言っておりません。小型ポンプについてどういうことを考えとるかちゅうことを言っとるわけですよ。

それで言いたいことは、今、班にあっては団員が6人なりの人数だと思うんですけども、常に町内において活動ができる状況ではない、認識されとるでしょうけども。町外におったりよそに行ったりとかね、名前だけあって実際に動くのは出初め式のときに動くか操法大会のときに動くか、この2回ぐらいだと思うですよ。それも団員全部そろうちゅうことはない。もう断言してあげますよ、ないって。そういう状態。それでこういうのは皆保障して、例えば一つの集落に動ける者が3人しかおらん。それなら2つでも3つでも一緒にして、同じような地区で一つの班にされたらどうですか、検討されたかということ言っとるわけですよ。何でこれをされんですか。

山火事でも動かん班があったら一緒ですよ、実際に。答弁お願いします。

○議長（牧田 武文君） 平井参事。

○総務課参事（平井 文彦君） 議員おっしゃいますように三朝町自立に向けた改革のための行動計画ということで、数年来継続継続ということで来ておりますけども、町長も答弁で言いましたように消防組織の見直し、これについては今後取り組んでまいりたいと思います。よろしくお願ひします。

○議長（牧田 武文君） 遠藤議員。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 消防だけ手放しというか、自由にちゅうことはあり得んと思うですわ。大きな予算ですから、消防関係の予算というのは。それで安心安全のためには必要、それはわかりますよ。ですけども、やっぱり簡素化と言やあ悪いけども2つを一つにするとか、班のことですよ、小さい班、機動班はいいですよ、機動班は構わん、置いといて、小型ポンプの場合の話をしとるわけです。

それで担当課長が答弁できんかったら、町長も積極的にそういう決める気があるかないかちゅうのも聞きたいですよ。5年たってる、5年。ほかのところはもう既に済んだる状態。消防だけ一回も手がつけれんちゅうのは何ですか、問題は。

○議長（牧田 武文君） 平井参事。

○総務課参事（平井 文彦君） 再三ずっと前からこのことは承知しておりましたし、人口の減少で組めないちゅうこともこれから先大体わかってくると思います。町長のあれもありましたけども、いま一度協議する時間をいただきたいと思います。

○議長（牧田 武文君） よろしいですね。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 町長の答弁は。

○議長（牧田 武文君） 吉田町長。

○町長（吉田 秀光君） 消防の組織のあり方、ありよう、さらには町長の責任において消防団を設置する、そういったことについては十分御理解をいただいていると思っています。

そうした中で、消防団員がそれぞれの村で極めて重要な村づくりの核になっていることも事実であります。これは組織教育というものについて、今の青年教育の中でなかなか行われていない、行えていないというのが実態であろうかというふうに思っております。消防の活動のみならず、防災の活動のみならず、それぞれの村において消防団員が村づくりあるいは地域づくり、そういったことに対しての組織的な動き、これはとても町の活性化、町づくりの上にとって極めて重要というふうに思っているところであります。

消防団が今の全体定数が適切であるかどうか、このあたりについては消防団の意見も十分聞いて、消防審議会そのものに町長が答申をしていくという経緯の中で、今後どのような規模が本町にとって適切であるか否か、そういったことについて協議を深めてまいりたいと思っておりますので、議員各位の御指導、御鞭撻もいただきたいと思っております。

なお、温泉地消防につきましては、これは今回中部広域の中ではしご車の更新を行います。このしご車そのものが対応しなければならない施設というのは、倉吉市初め周辺4町の中で極めて我が町の対象物件が多いという実態にもございます。20数年間の中で、しご車の出動というのはわずかな回数そのものであるのに、これだけな巨費が1台かかるのかという論議もあるわけですが、万全を期すというのが消防に対する施設整備の考え方であろうかというふうに思いますので、御理解をいただきたいと思っております。

○議長（牧田 武文君） よろしいでしょうか。

ほかに。

吉田議員。

○議員（3番 吉田 文夫君） やっと回りました。なかなか言う機会がなくて。

実は、62ページの上から3行目になりますが、消防費の中より退職消防団員報償金というのが組まれておりますね、450万。これはどのような制度をもって報償金が支払われているのか。また、何人の方々に支払いの予定があるのかということをお願いしたいのですが。

○議長（牧田 武文君） 平井総務課参事。

○総務課参事（平井 文彦君） 吉田議員が今おっしゃいますのは450万。

○議員（3番 吉田 文夫君） はい。

○総務課参事（平井 文彦君） これにつきましては、退職消防団員報償金ちゅうことで4月末で任期が大体切れますけども、それについて退団される方の報償金、これまでの活動に報いるための報償金でございます。

○議員（3番 吉田 文夫君） これまでの、ちょっと制度はどういう制度。

○総務課参事（平井 文彦君） 根拠は先ほども言いかけたですけども、勤続年数5年以上ということで5年を区切って最後の役職、これによって支払いが変わるといようなことでございます。それで、ちょっと後にさせていただきますでしょうか。済みません。

○議長（牧田 武文君） 吉田議員。

○議員（3番 吉田 文夫君） 役職って階級ですか、これは。

○総務課参事（平井 文彦君） そうです、階級です。

○議員（3番 吉田 文夫君） 階級によってその制度は5年以上たつて、階級によって報償金が決められるということですね。

○総務課参事（平井 文彦君） そうです。

○議員（3番 吉田 文夫君） それで何人の方に支払う予定ですか、この金額は。

○議長（牧田 武文君） 平井参事。

○総務課参事（平井 文彦君） ことしは15人を取りあえず見込んでおります。年によって違いますけど、15名予定させてもらっております。

○議長（牧田 武文君） 吉田議員。

○議員（3番 吉田 文夫君） わかりました。

詳しくは聞きませんが、今おっしゃられたとおりだと思うんだけど、これはもう個人個人では書いてないですね、一括に書いとるわけですね。細かくは書いてないですね。要するに階級、年とかそういうのは段階があるわけですね。15人ちゅう人数だけですね。

○議長（牧田 武文君） 石井財務課長。

○財務課長（石井 秀己君） 済みません、予算のことですので私が説明させていただきます。

先ほど言いましたように、最高の階級それから年数、それによって定めておりますけども、これは退職報償金条例というものがございましてそこに定めてございます。

それと450万ですけども、それにつきましては15人予定しておるということでございますけども、正確にまだだれがどうこう来るといものがございませぬので、一応予定として15人程度で450万円の退職報償金を見ているということでございまして、明確にならだれがどうということは今予算上ではまだわかっておりませぬ。

○議長（牧田 武文君） よろしいでしょうか。

○議員（3番 吉田 文夫君） はい。

○議長（牧田 武文君） 次、福田議員。

○議員（4番 福田 茂樹君） 同じく消防費、トータルとして64ページに地方債が730万円、これ過疎債が使っておりますよね、唯一。過疎債22年度から使えるようになったわけでありませぬけども、唯一この消防のとこだけに使っている部分。じゃ具体的にどういう考え方でこの消防費のどの部分にこの730万円が充てられているのかどうか。

○議長（牧田 武文君） 石井財務課長。

○財務課長（石井 秀己君） 起債を充当したのは財政でございまして、御説明申し上げます。

従来までは過疎債ございませぬでした。消防施設整備事業債という起債を充てておりました。

今回、過疎の対象になるということで過疎債が使えるということがございましたので、一応今回の予算の中身を検討しながら、今の段階でこれが充当できるでないかという形で730万上げておりますけども、これにつきましては先ほどの積載車、それから小型ポンプ、そういったものについて充当するように予定しております。

○議長（牧田 武文君） 福田議員。

○議員（4番 福田 茂樹君） 執行部の中で検討されて、この過疎債を唯一消防に使われたという部分がどうなのかなというのがちょっとひっかかるだけです、私は。ほかの部分でも、実際にいろんな検討があるべき過疎債だと思っていますので。

○議長（牧田 武文君） 石井財務課長。

○財務課長（石井 秀己君） 今回過疎の対象になったということで、過疎債が使えるということでございますけども、新しい過疎債についてどういうものに一体使えるかというのがまだ明確に来ておりません。それで唯一、従来過疎を使っておりましたので、過疎債の対象となるのがこの消防施設についてはなっておりましたので、これにとりあえずという言い方は悪いんですけども、充当できるような費目としてこれが当たるんじゃないかということで、今回この過疎債を充当させていただくということにしております。

もちろん過疎債につきましては、町長の提案説明にもありましたけども、過疎計画というものも一応定めながらの検討をしていかなければなりませんけども、一応今回の中で充てれるのがこれではないかなということで予算上では上げております。

○議長（牧田 武文君） 福田議員。

○議員（4番 福田 茂樹君） 非常にちょっと疑問に思ったものですから、今回。今聞いたらポンプ車等に充てるという部分がありましたけど、これはじっくり検討するべきものなのかなと、過疎債を含めて、というふうに思っています。終わります。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

遠藤議員。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 69ページの文化財調査費の中の三仏寺本堂保存修理事業補助金ということで上がっております。これが平成19年度から県が50%、町が6.25%、事業者が43.75%という負担割合で出てる予算だというふうに思いますが、19年度が450万円、20年度が285万円、21年度が330万円、ことしが1,725万円というふうに上がってきております。この増額の原因というものをちょっとまず聞きたいと思っております。

○議長（牧田 武文君） 布廣教育総務課長。

○教育総務課長（布廣 覚君） 増額の原因ということでございますけども、最初この事業につきましては先ほども言われましたように19年度から5カ年を計画しておりました。19年度は450万円計画しておりましたが、その当時、19年度の精算は305万4,000円で終わっております。それから20年度は285万6,000円、21年度が330万2,000円、それから22年度725万7,000円を見込んでおります。当初5年間の計画でしたが、事業の進捗等によりまして1年早く終えるような事業内容になりましたので、22年で終わるようにしたいと考えておるところでございます。

総額につきましては、当初1,650万を予定しておりました。今のところ、22年度を含めまして1,646万9,000円ほど考えておるところでございます。

○議長（牧田 武文君） 遠藤議員。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） この事業について、委員会で経過報告されたですか。やっぱり一遍予算がついたけえ、割合も決まった。それでもうこの予算上げりゃ通るといって問題ではない、経過、変わった場合には経過報告の中において委員会で説明されるのが本当だと思うんですけど、されたですか。

○議長（牧田 武文君） 布廣教育総務課長。

○教育総務課長（布廣 覚君） 委員会では詳細な経過報告はしてないと思っております。

○議長（牧田 武文君） 遠藤議員。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 今後のこともありますけえちょっときつく言いますけども、やっぱり5年間で4年間に短縮したとか増減があったとか、そういう話はやっぱり一応されるべきだと思うですよ。一遍通ったものは何でもできるということではいけんと思います。

それから、私が個人的に言うと、何だかその予算の増減はモノレールが積載重量がどうこうで変わったというようなことを個人的には聞いたんですけど、そういう話が今出てこなんだけど、関係ないですか。

○議長（牧田 武文君） 布廣教育総務課長。

○教育総務課長（布廣 覚君） 先ほども言われましたように、大きな変更があるときには委員会でそのような説明をしなければならぬと考えておる次第でございます。

それから、変更のことにつきましてですが、言われましたようにモノレールが最初は500キロの積載を考えておりました。ところが、取り壊していくうちにおいて大きな材が使えるではなからうかという判断をしておりましたけども、それが腐食が甚だしく現物では使えないということで、新たに購入しなければならない材ということになりまして、それが1トン弱という材木に

なりました。それで最初500キログラムのモノレールを考えておったですけども、それには積めれないということで、1トンのモノレールに変更した経過はあります。以上です。

○議長（牧田 武文君） よろしいですね。

ほかに。

2番、藤井議員。

○議員（2番 藤井 克孝君） 済みません、68ページの社会教育費の中で地域が育てる子ども総合対策事業、こんなのちょっと具体的な中身を教えていただけませんか。

○議長（牧田 武文君） 田栗生涯学習課長。

○生涯学習課長（田栗 幸人君） 地域が育てる子ども総合対策事業の99万6,000円の内訳ですが、主なものにつきましては土曜学校、それからわくわく宿泊体験塾ということで6泊7日の通学合宿をやっております。それと夏休みにつきましては集まれ冒険隊ということで、中津を中心にしましてキャンプを行っています。主な中身は以上でございます。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

○議員（2番 藤井 克孝君） はい、いいです。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

遠藤議員。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 72ページの体育施設管理費の中の一番上、野球場一般管理経費、この間説明によりますと芝を刈れるトラクターの購入といったような話を聞いたというふうに思いますけれども、696万円という金でございますが、これ今、機械を買われるとどうせその管理作業をされるのに人を頼まないけんという現状だというふうに思います。それなら業者に一括して管理を任せの方がみやすくてできるし、この696万、例えば1年間50万円要ったって10年は委託すりゃできる。これ機械を買うちゅうと保守点検からいろいろ何にも、メンテナンスもせないけんという状況ですけれども、どういう考えなんでしょうか。

○議長（牧田 武文君） 田栗生涯学習課長。

○生涯学習課長（田栗 幸人君） 一般管理経費の696万7,000円につきましては、これ通常の管理と、それから芝刈り用トラクターというのが左側の節のところにありますけど、396万1,000円がその芝刈り機の値段でございます。696万7,000円から396万1,000円を引いたものの主な管理費といいますと、大きいところは照明用の電気代、それと電球とかそういう消耗品等の金でございます。

この芝刈り用のトラクターにつきましては、球場の中、芝の植えてある面積が約8,200平

米あります。8反ちょっとあります。これを年大体8回ぐらいを目安として刈るように計画しております。ただ、季節によって5月ごろから始めてですので、天気あるいは気温等によりまして多いときは月に2、5回ぐらい刈るんですが、これ刈って集めて運ぶという、手ですればそういう格好になりますけど機械ですと半日もかからずに刈れるということで、それと一定の長さを保って球場ですので整備をしたいということで、芝刈り用のトラクターを計画しているものです。

○議長（牧田 武文君） 遠藤議員。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） プロ野球の球場でないですから、1カ月に二遍も三遍もということとはそれは必要ないというふうに思います。それについて反論もあるかもしれませんが。

今までは、ならこの機械ちゅうのがあって、めげて更新するちゅうことですか。それでも多分人はシルバー人材センターなりを使われてこの機械を運転されるだというふうに理解するんですけど、でしょう。

○議長（牧田 武文君） 田栗生涯学習課長。

○生涯学習課長（田栗 幸人君） 遠藤議員の言われるとおりでございますが、昭和56年に球場ができたと思っておりますが、そのころからずっと芝刈り機を1台持ってましたけど、物すごい傷みで部品はもうありませんので、鉄板に穴があいたり、それから刈って吹き上げて集めるわけですけど、その鉄板に穴があいたり吹き上げのところに穴があいたりして、とりあえず応急手当てで通常のある鉄板を張りつけたりして今使用しているわけですけども、修繕の方が追いつかんようになってきましたので新しくするものです。

それと、これを使ってやりますとさっき言いましたように刈って捨てるまでが物すごく、1回が半日かからんぐらいで終わりますので、人夫賃としましては安く上がっていると思っております。

○議長（牧田 武文君） 遠藤議員。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） その機械を買って人を使ってするのと、業者に委託してさっき言われた球場を使用する期間ちゅうのもあるでしょうから、1カ月に一遍程度刈ったとしてもそれに6カ月分ぐらいあらええだろうという簡単な計算するだけど、そのときに業者に一括して渡すいいですかね、頼むのと自分で機械買って管理するのとの比較ちゅうのはされたかな。

○議長（牧田 武文君） 田栗生涯学習課長。

○生涯学習課長（田栗 幸人君） その芝を刈る時期でございますけど、先ほど言いましたように気温とか雨とかによって生えるあれが違うんですけど、大会等もありますので、それに合わせてうちの思うようにといたしますか、使用に合わせて適正な刈り取りをしたいと思っておりますので、



業者委託というのも一つの方法だとは思いますが、一番適正な時期に適正な管理をしたいということでシルバー人材センター等で安くやっていただけておりますので、機械を使っていただいて刈っていただくように計画しております。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

福田議員。

○議員（４番 福田 茂樹君） 70ページ、図書館費、昨年に比べて700万ほど増額になっております。調べてみますと、人件費が600万ふえております。再々利用させていただく中で、そんなに人が足りないという状況には私は見えないというふうに思っています。このふえた理由を教えてください。

○議長（牧田 武文君） 田栗生涯学習課長。

○生涯学習課長（田栗 幸人君） 人件費が去年と比べてふえているということ。

○議員（４番 福田 茂樹君） 600万ふえてる。

○生涯学習課長（田栗 幸人君） 当初予算ですよ、比較は。

去年の当初予算でいいますと1人退職者がありましたので、当初予算にはその1人分を計上しなかったと思います。それで人事が決まった時点で途中で補正させていただいて、今とはちょっと違いますけど大体こういう金額になっておりますので、去年とほとんど変わってないというふうに考えております。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

○議員（４番 福田 茂樹君） はい、いいです。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

藤井議員。

○議員（２番 藤井 克孝君） 済みません、ちょっと2点ほど伺いたいと思います。

1点目は、68ページの旧中津分校の管理費、これ少ない金額ですけど、今後この分校をどのようにされていくのか、ちょっとお聞きいたしたいと思います。

○議長（牧田 武文君） 田栗生涯学習課長。

○生涯学習課長（田栗 幸人君） 済みません、手を挙げちゃいましたけど、今後どのようにということになりますとうちの方じゃなかったかと思いますが、先ほどありましたように子ども対策事業の方で夏休みに子供のキャンプ等をこの場所を使っております。その関係でうちの方で予算をいただいて簡単な草刈りですとか掃除とかやっておりますので、その経費を若干見させていただいて、あとはうちの方で職員の総事で管理しております。

将来的なもんといいますと、ちょっと済みません、私の方じゃなかったかと思いますが、今上げてある予算につきましてはそういうことで生涯学習課でやっています。

○議長（牧田 武文君） 石井財務課長。

○財務課長（石井 秀己君） 以前、分校のあったときには教育財産ということでございましたけども、分校が廃止となりましたので普通財産という形になっております。

今現在、先ほど使用しているのがああったキャンプとかそういったものに活用しとるということですが、将来的にどうかと言われましてもかなり老朽化しておりますので、本来ならば取り壊さなければならぬ物件かとは思いますが。取り壊すにしても費用等の兼ね合いがございますので、それについてもうちょっと検討していきたいというぐあいに思っております。

○議長（牧田 武文君） 藤井議員。

○議員（2番 藤井 克孝君） 今の件ですけどね、以前、大谷分校等もあったんですけどね、あすこもやっぱり老朽化して今整地されてますよね。だからあすこの地域の安心安全を考えれば、やっぱり環境問題を含めてちゃんとされた方がいいんじゃないかと。あすこの前を通ってみても、周りは草ぼうぼう、中はそんなに使えるもんか使えないもんか。見た目にもやっぱり、町の財政の一部だったらやっぱりちゃんと整理をされた方がいいんじゃないかと思えます。以上です。

○議長（牧田 武文君） 答弁要りますか。

○議員（2番 藤井 克孝君） お願いします。

○議長（牧田 武文君） 石井財務課長。

○財務課長（石井 秀己君） おっしゃられますように、かなり老朽化しております。大谷分校につきましては、今年度取り壊すようなことになっておると思いますが、中津分校につきましては鉄筋コンクリートでございます。外壁もかなり傷んできておりますので、おっしゃられるように危ない面がございますので、取り壊しということも検討したいと思えます。

これまでに至った経過といいますのは、その中に町内の生活文化財といいますか、いろんな農機具とかそういったものの保管庫というような形で一応いろいろなものが入っておりました。そういったものも一応一部返品したりしながら、物によっては別のところに移動したりしてあすこを整理するということになっておりますので、そういったことも済みました段階で考えていきたいというぐあいに思えます。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

○議員（2番 藤井 克孝君） 今の分はもういいです。

次は69ページ、文化費と文化財調整費と、それからこれ含めてでいいんですのでお願いいた

します。71ページの教育費、世界遺産推進費等のこの文面の中で県と国等の補助の部分があったらお聞かせいただきたいと思います。

○議長（牧田 武文君） 布廣教育総務課長。

○教育総務課長（布廣 覚君） その文化財調査費の中で、国の補助事業があればというお尋ねだったと思うのですが、説明欄のところの三徳山遺跡発掘調査事業につきましては国の補助金のある部分がありますので、それを利用しながらやっておるところがあります。発掘調査と、それから三徳山地内の測量を一部そういったことで国の補助をもらいながら計画したいと考えておるところでございます。

○議長（牧田 武文君） 藤井議員。

○議員（2番 藤井 克孝君） ちょっともう一回お聞きしますが、文化費の中で文化振興事業費のこの2行の分と文化財調査費、ここで9件かいい、それから次に71ページの世界遺産登録推進費、ここの3項目ですね、それで順番をちょっとお願いいたします。文化費の中で国、県から出る部分と文化財調査費、この9項目、それから教育費の部分で71ページの分で3行の部分……。

○議長（牧田 武文君） ちょっと済みませんが、何かわかりにくいですがもうちょっとはっきり。

○議員（2番 藤井 克孝君） まず最初に、文化費の方からちょっと。文化振興事業費を含めて、この2行の部分ですね、この金額がうたってある分、これに対しては国、県の補助等は。

○議長（牧田 武文君） 布廣教育総務課長。

○教育総務課長（布廣 覚君） 文化費、その説明欄で文化振興事業費21万9,000円の内訳につきまして、国の補助事業ではありませんので国費は入っておりません。以上です。

○議員（2番 藤井 克孝君） これ3つまでかいな。ずっとこれ答えてもらえりゃええけどな、この文化財調査費、ここの中では。

○議長（牧田 武文君） 布廣教育総務課長。

○教育総務課長（布廣 覚君） 文化財調査費の中の事業で国費が入りますのは、先ほど申しましたが、三徳山遺跡発掘調査等事業費450万2,000円の中に国費は入ってはきまず。以上です。あとはないです。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

○議員（2番 藤井 克孝君） 次の部分、71ページの世界遺産登録推進費、これに対しては。

○議長（牧田 武文君） 米田企画観光課長。

○企画観光課長（米田 功君） 世界遺産登録推進費でございますが、これにつきましては国県等の補助金は入っておりません。ただ、推進事業の中で三朝町と県とでそれぞれいろんな、情報発信とかそういったものについては県は県で予算化をしておられますので、共同してそういった事業も取り組んでおるとというのが実態でございます。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

○議員（2番 藤井 克孝君） いいです。

○議長（牧田 武文君） 遠藤議員。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 先ほどの藤井議員さんの関連質問で、68ページ、旧中津分校管理費に関係してちょっと質問をさせていただきます。

何年前か、これ町民の方から集めた文化財か何か、農具とかと言われましたけど、そのものを保管しとるとということで、私が所管のころにもうそろそろ返したりなんかして始末をすと言われて、はやもう2年以上経過しとるという中において、まだ完全に済んどらんという状態ですか。

○議長（牧田 武文君） 布廣教育総務課長。

○教育総務課長（布廣 覚君） 現在その手続は進めておりまして、一部返しておりますが、一部まだ現実には残っておるという状況ではあります。

○議長（牧田 武文君） 遠藤議員。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） いつになったらこれが全部完了するわけですか、その返すというだけ、要らん分だけ要る分だけ知りませんが、仕分けされて処理されると思うわけですが。多分もう返して要らんという分も多分出てくると思いますけん、廃棄処分もせないけんというふうに思いますけれども、これ何年もかかる問題ですか。しようと思ったらすぐできへんですか。もう2年もたつとるわけだけど。

○議長（牧田 武文君） 布廣課長。

○教育総務課長（布廣 覚君） その手続は今進めてはおりますが、来年度の初めのうちにはそれはちゃんと始末したいと思っております。

○議長（牧田 武文君） 遠藤議員。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 確認です、本当ですね、それ。また来年聞いて、まだ残ってますと言われたらこらえませんが、私は。

○議長（牧田 武文君） 布廣課長。

○教育総務課長（布廣 覚君） そのようにしたいと考えております。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） するって言えや、したいでなしに。したいちゅうのはいけんわい、

する。

- 議長（牧田 武文君） 布廣課長。
- 教育総務課長（布廣 寛君） やります。
- 議長（牧田 武文君） ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

- 議長（牧田 武文君） ないようでしたら、質疑を終結し、進行いたします。

次に、給与費明細書から最後まで、76ページから85ページまで、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

- 議長（牧田 武文君） ないようでしたら、質疑なしと認め、進行いたします。

以上で歳出に対する質疑は終結いたします。

しばらく休憩をいたします。再開を午後1時といたします。

午後0時03分休憩

---

午後1時00分再開

- 議長（牧田 武文君） そういたしますと、午前中に引き続いて再開をいたします。

続いて、歳入についての質疑を行います。

午前中の分で保留している、米田課長の方から答弁がありますので、よろしくお願いいたします。

- 企画観光課長（米田 功君） 知久馬議員さんの方から、ふるさと健康むらの利用者数についての御質問がございましたので報告させていただきます。

まず、白狼焼きの体験数ですけれど、年によってまちまちでございますけれど、大体3年間平均いたしますと年間800人ほどの利用があるようでございます。

それから、織物工房の方につきましては、230名程度というところでございます。

また、物産館の方でございますが、物産館の方については人数はそれぞれ把握してないようですけれど、喫茶の売上額からちょっと推計しますと、約1,500人程度が訪れておられるというようなことのようにございます。

なお、健康むらのそういった施設の案内等につきましては、織物工房も含めて各旅館へのチラシ等の配布等も行っているようでございます。引き続いて一体的に取り組むということで、織物工房も含めて情報発信もしていくように今後とも指導していきたいというふうに思います。

- 議長（牧田 武文君） よろしいでしょうか。

そういたしますと、続いて歳入についての質疑を行います。

1 款町税から 2 2 款町債まで、1 0 ページから 2 9 ページまで、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

次に、第 2 条、債務負担行為から第 5 条、歳出予算の流用その他全部について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

以上で議案第 4 号、平成 2 2 年度三朝町一般会計予算に関する質疑を終結いたします。

議案第 5 号、平成 2 2 年度三朝町国民健康保険事業特別会計予算について、質疑ありませんか。  
1 番。

○議員（1 番 清水 成真君） 全体的なことなのですが、一般管理費と事務経費ですね、非常にふえております。1, 2 0 0 万程度恐らく去年よりふえておるわけですけども、事務の職員の増減があったのか。事務経費が法外にふえているというのはどういうことでふえておるのかということをお願いします。

議長、詳しく言いましょうか。

○議長（牧田 武文君） はい。

○議員（1 番 清水 成真君） 予算説明資料 1 7 2 ページの一般管理費、事務経費等が 2, 7 4 0 万 5, 0 0 0 円になっておるんですが、この経費ですね、内容と、1, 2 0 0 万程度増額されとるわけですが、その内容をお願いします。

○議長（牧田 武文君） 朝倉健康福祉課長。

○健康福祉課長（朝倉 聡君） ちょっと今説明ができませんので、また後で。

○議長（牧田 武文君） よろしいでしょうか。

○議員（1 番 清水 成真君） はい。

○議長（牧田 武文君） きょう再々あるけどごめんなさい。

ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 議案を終結し、進行いたします。

議案第 6 号、平成 2 2 年度三朝町老人保健特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 7 号、平成 22 年度三朝町後期高齢者医療事業特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 8 号、平成 22 年度三朝町介護保険事業特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 9 号、平成 22 年度三朝町簡易水道事業特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 10 号、平成 22 年度三朝町温泉配湯事業特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 11 号、平成 22 年度三朝町下水道事業特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 12 号、平成 22 年度三朝町集落排水処理事業特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 13 号、平成 22 年度三朝町分譲宅地造成事業特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 14 号、平成 22 年度三朝町会計事務集中管理特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 15 号、平成 22 年度三朝町財産区特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第16号、平成22年度三朝町水道事業会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第17号、平成22年度三朝町国民宿舎事業会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第18号、三朝町財産の交換、譲与、無償貸与等に関する条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第19号、三朝町国民健康保険税条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第20号、三朝町特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第21号、三朝町特別職の職員で常勤のもの等の給与の特例に関する条例及び三朝町国民宿舎事業管理者の給与の特例に関する条例の廃止について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第22号、三朝町特別職の職員で非常勤のものとの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第23号、三朝町職員の給与に関する条例等の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。



議案第 2 4 号、三朝町職員の育児休業等に関する条例等の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 2 5 号、三朝町条例の地番の表記の整理等に関する条例の設定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 2 6 号、三朝町基金条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 2 7 号、三朝町ふるさと健康むらの指定管理者の指定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 2 8 号、三朝温泉観光商工センターの指定管理者の指定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 2 9 号、三朝町総合スポーツセンターの指定管理者の指定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 3 0 号、財産の取得について（中津局移動通信用無線設備）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 3 1 号、財産の取得について（俵原局移動通信用無線設備）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 3 2 号、定住自立圏形成協定の締結について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 33 号、鳥取中部ふるさと広域連合規約を変更する協議についての質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 34 号、町道路線の認定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 35 号、町道路線の変更について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 36 号、平成 21 年度三朝町一般会計補正予算（第 9 号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 37 号、平成 21 年度三朝町国民健康保険事業特別会計補正予算（第 4 号）について、  
質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 38 号、平成 21 年度三朝町老人保健特別会計補正予算（第 2 号）について、質疑あり  
ませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 39 号、平成 21 年度三朝町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第 3 号）について、  
質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 40 号、平成 21 年度三朝町介護保険事業特別会計補正予算（第 3 号）について、質疑  
ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 41 号、平成 21 年度三朝町簡易水道事業特別会計補正予算（第 1 号）について、質疑

ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第42号、平成21年度三朝町温泉配湯事業特別会計補正予算（第1号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第43号、平成21年度三朝町下水道事業特別会計補正予算（第2号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第44号、平成21年度三朝町会計事務集中管理特別会計補正予算（第2号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第45号、平成21年度三朝町水道事業会計補正予算（第3号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

以上で質疑を終結いたします。

お諮りいたします。ただいま議題としております42件の議案のうち、議案第4号、平成22年度三朝町一般会計予算、議案第36号、平成21年度三朝町一般会計補正予算（第9号）については、5人の委員をもって構成する一般会計予算審査特別委員会を設置し、これに付託の上、審査することにいたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 御異議なしと認めます。よって、議案第4号、平成22年度三朝町一般会計予算、議案第36号、平成21年度三朝町一般会計補正予算（第9号）については、5人の委員をもって構成する一般会計予算審査特別委員会を設置し、これに付託の上、審査することに決定いたしました。

お諮りいたします。特別委員の選任は、議長において指名いたしたいと思っております。これに御異

議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 御異議なしと認めます。よって、議長において指名することに決定いたしました。

指名いたします。

総務教育常任委員会から清水成真議員、知久馬二三子議員、産業民生常任委員会から福田茂樹議員、藤井克孝議員、副議長、遠藤勝太郎議員、以上5名の諸君を指名いたします。

お諮りいたします。ただいま指名いたしました5名の諸君を特別委員に選任することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 御異議なしと認めます。よって、総務教育常任委員会から清水成真議員、知久馬二三子議員、産業民生常任委員会から福田茂樹議員、藤井克孝議員、副議長、遠藤勝太郎議員、以上5名の諸君が特別委員会委員に選任されました。

しばらく休憩をいたします。休憩中に一般会計予算審査特別委員会を開催し、委員長及び副委員長を互選していただきますようお願いいたします。

午後1時15分休憩

---

午後1時15分再開

○議長（牧田 武文君） 再開いたします。

ただいま一般会計予算審査特別委員会の委員長、副委員長を互選していただきましたので、報告いたします。

委員長に清水成真議員、副委員長に知久馬二三子議員が選任されました。

お諮りいたします。ただいまの付託いたしました議案以外の40件の議案は、お手元にお配りしている議案付託表のとおりそれぞれ所管の常任委員会に付託いたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 御異議なしと認めます。よって、議案第4号及び議案第36号を除く40件の議案は、お手元にお配りしている議案付託表のとおりそれぞれ所管の常任委員会にその審査を付託いたします。

なお、議案第4号及び議案第36号につきましても、それぞれ所管の事項の審査を各常任委員

会をお願いいたします。

---

○議長（牧田 武文君） 以上で本日の日程はすべて終了いたしました。

本日はこれにて散会いたします。

午後1時17分散会

---